

23年3月期 上半期連結業績について

執行役員 常務

岡 恭彦

2022年10月31日

目次

23年3月期 連結業績

- 業績概要(PL・受注高・受注残高)
- 業績概要 第2四半期期間(PL・受注高・受注残高)
- 売上高の増減
- 営業利益の増減分析
- 受注高・受注残高の増減
- セグメント別業績(売上高・営業利益・営業利益率)
- セグメント別業績(受注高・受注残高)
- セグメント別業績 増減分析
- 通期 業績・配当予想

Appendix

- 23年3月期 売上区分別(売上高・受注高・受注残高)
- 23年3月期 業種別売上高

23年3月期 上半期決算 業績概要(PL・受注高・受注残高)



(単位:百万円)

	22年3月期	23年3月期	増減額	増減率
売上高	200,025	213,099	13,074	6.5%
売上総利益	51,983	55,224	3,241	6.2%
売上総利益率	26.0%	25.9%	△0.1%	
販売管理費 [※]	△ 29,392	△ 32,709	△ 3,316	11.3%
営業利益	22,590	22,515	△ 75	△0.3%
営業利益率	11.3%	10.6%	△0.7%	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	15,784	16,226	442	2.8%
受注高	194,918	204,888	9,969	5.1%
受注残高	158,165	168,870	10,705	6.8%

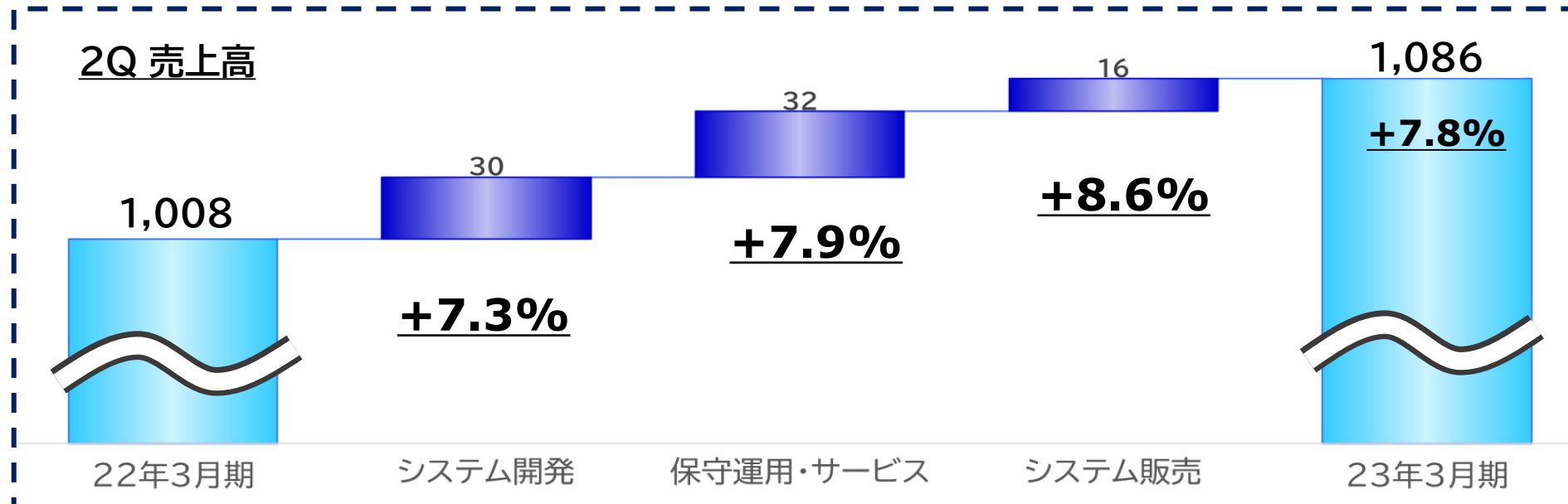
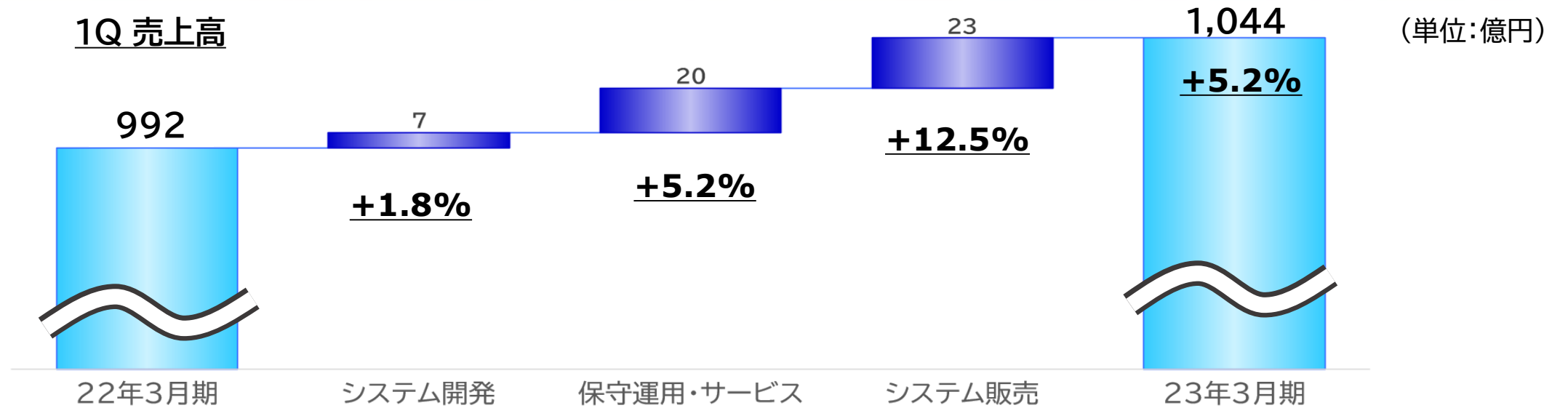
※ その他の収益及び費用を含む

(単位:百万円)

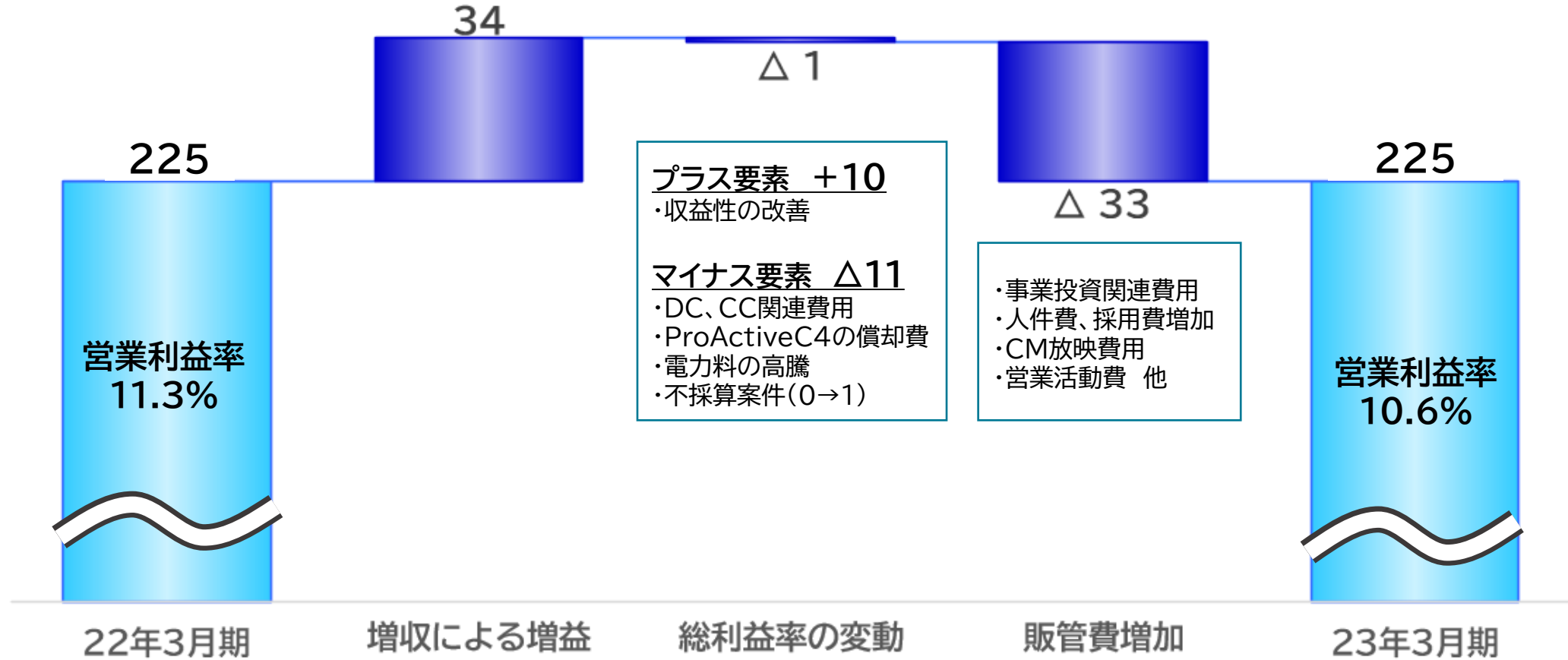
	22年3月期	23年3月期	増減額	増減率
売上高	100,814	108,682	7,867	7.8%
売上総利益	26,554	29,235	2,680	10.1%
売上総利益率	26.3%	26.9%	0.6%	
販売管理費 [※]	△ 14,851	△ 16,657	△ 1,805	12.2%
営業利益	11,703	12,577	874	7.5%
営業利益率	11.6%	11.6%	△0.0%	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	8,080	9,220	1,140	14.1%
受注高	107,603	105,154	△ 2,449	△2.3%
受注残高	158,165	168,870	10,705	6.8%

※ その他の収益及び費用を含む

23年3月期 上半期決算 売上高の増減

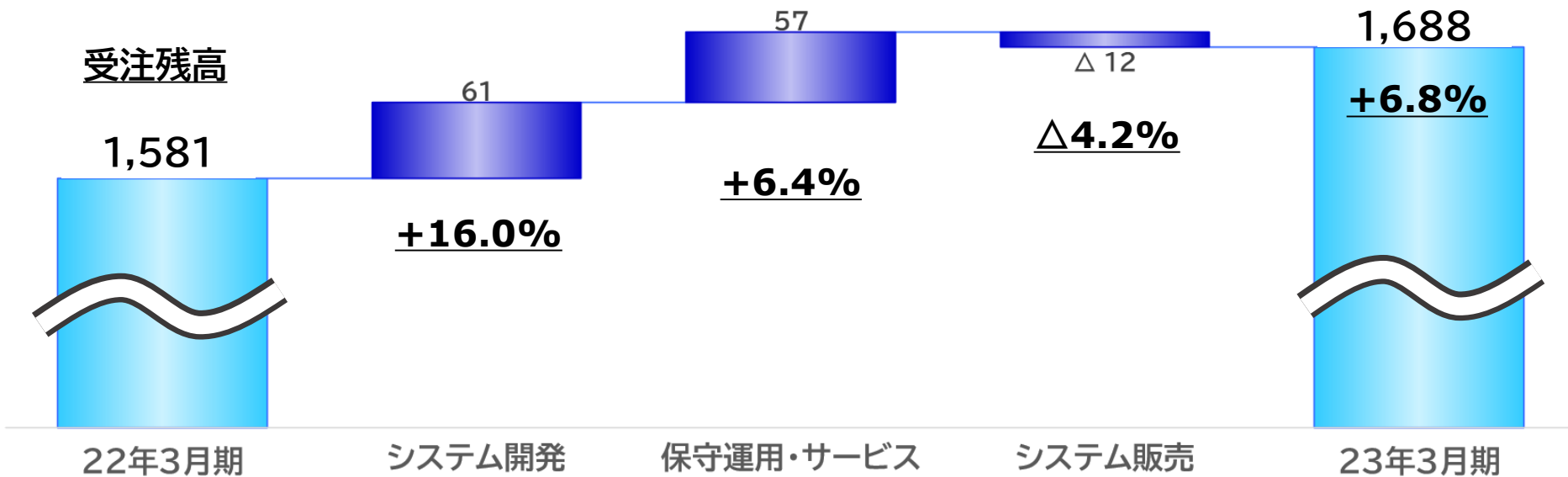
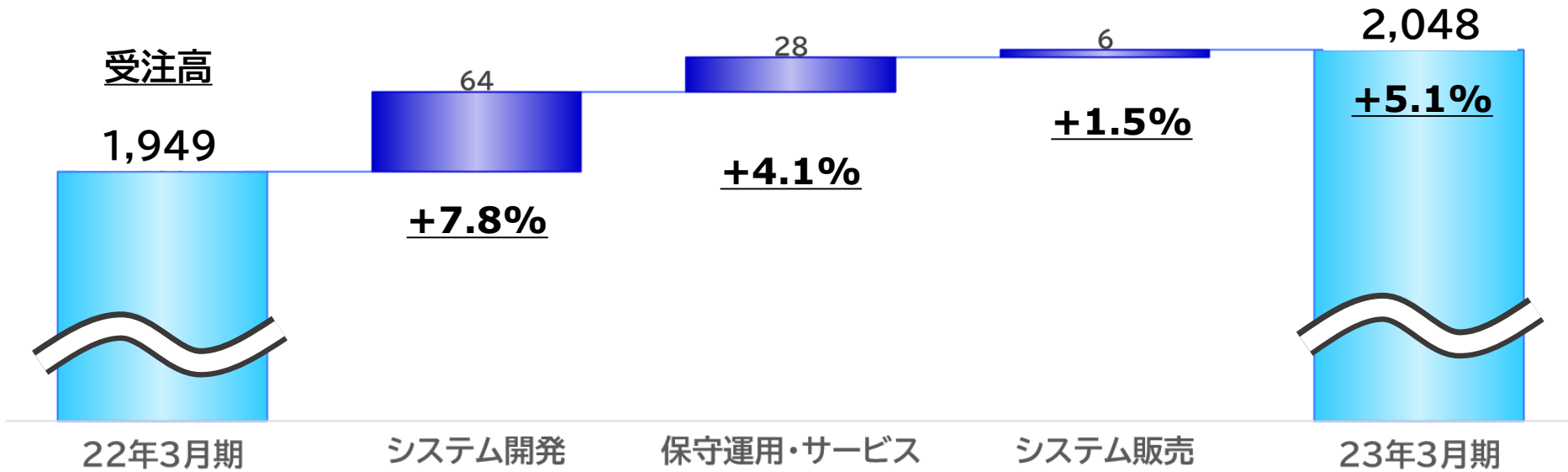


(単位:億円)

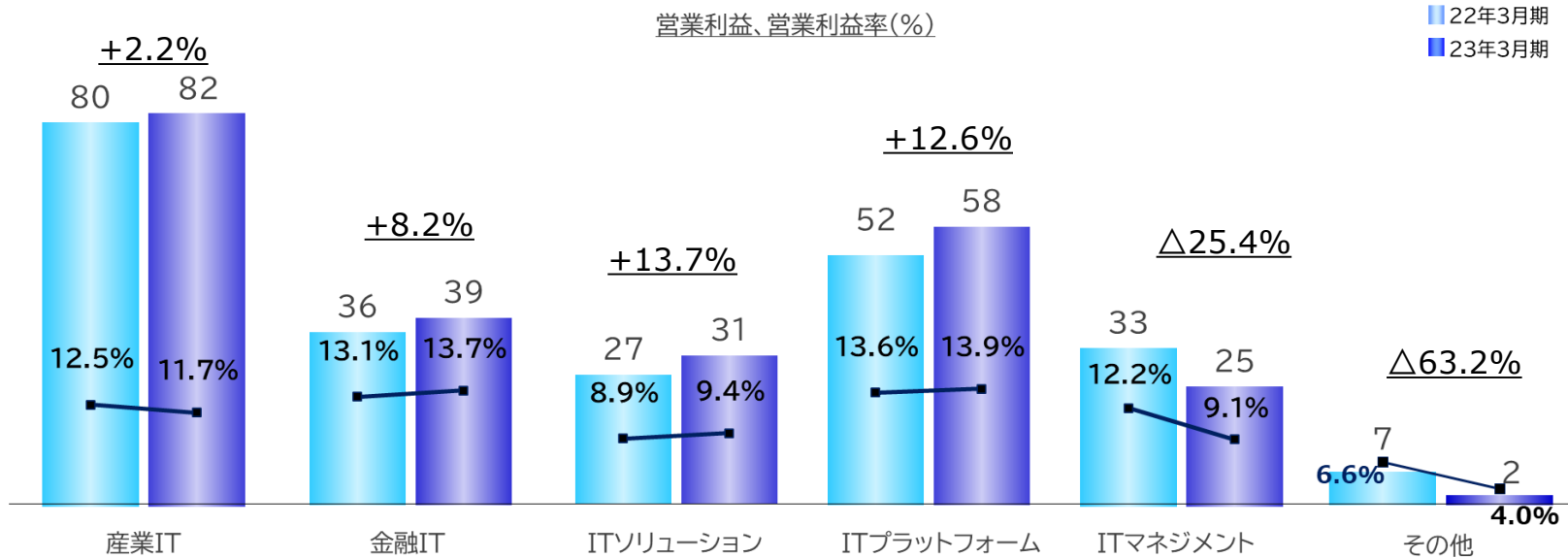
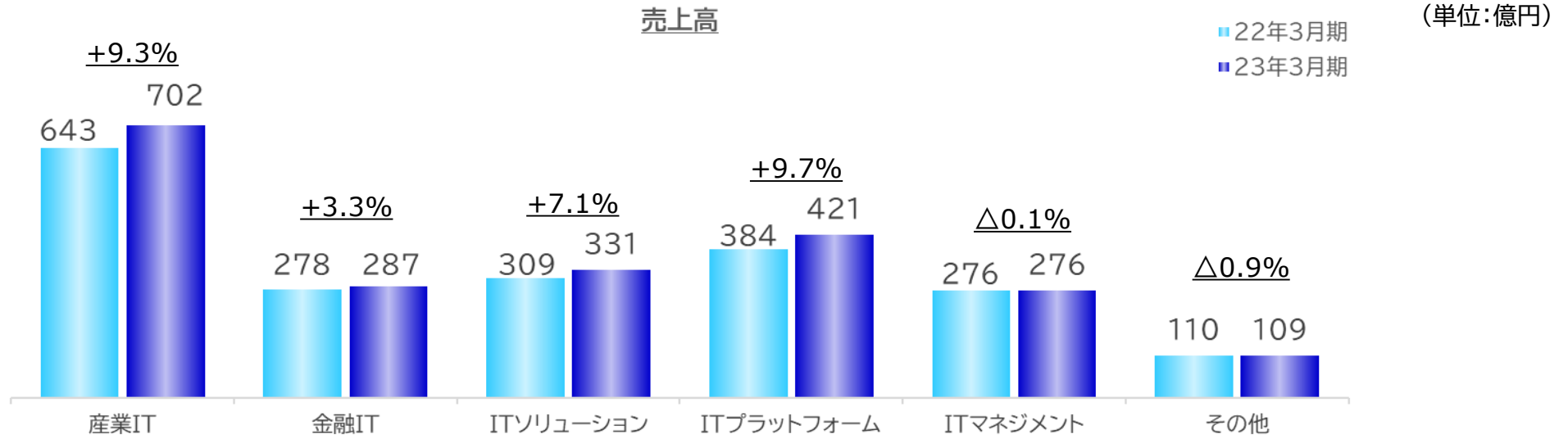


23年3月期 上半期決算 受注高・受注残高の増減

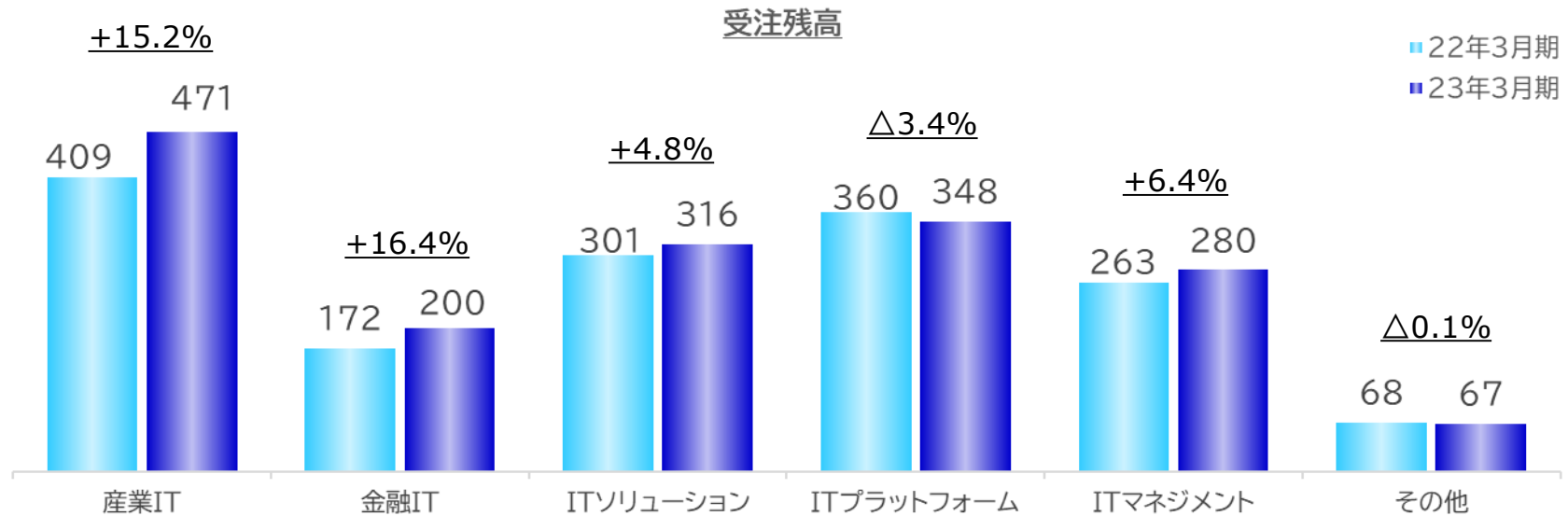
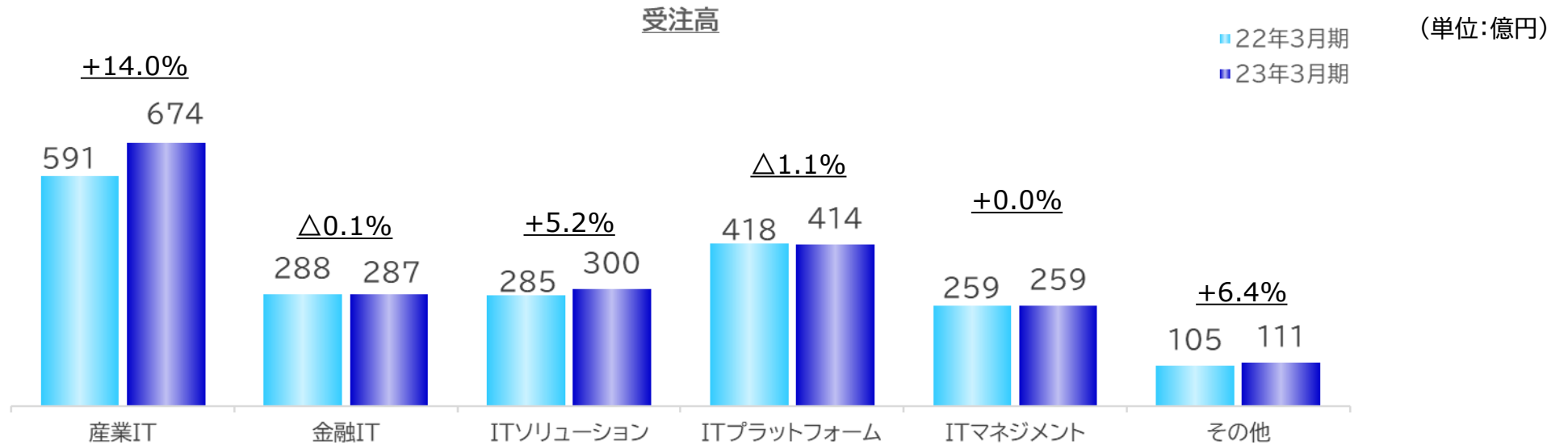
(単位:億円)



23年3月期 上半期決算 セグメント別業績(売上高・営業利益・営業利益率)



23年3月期 上半期決算 セグメント別業績(受注高・受注残高)



セグメント	売上高	営業利益	受注高・受注残高
産業IT	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 自動車業向け戦略的投資需要 ➤ 流通業向け基幹システム再構築案件の増加 ➤ 検証サービス拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 自動車業・流通業向け案件の寄与 ➤ DX事業化投資コストの影響 ➤ 一部資産入れ替えによる償却費の発生 ➤ 不採算案件の発生 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 自動車業向け戦略的投資需要 ➤ 流通業向け基幹システム再構築案件の増加 ➤ 検証サービスの拡大
金融IT	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 銀行業向け国際関連業務システム案件の増加 ➤ 信販・リース業におけるDevOps案件等の拡大 ➤ 生保・損保業向け前期大型案件の反動減 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 銀行、信販・リース業向け案件の寄与 ➤ 生保・損保業向け前期大型案件の反動減 ➤ 新サービス立ち上げに伴う先行コスト 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 銀行業の基盤更改案件の獲得 ➤ 信販・リース業における不正検知システム販売案件の獲得 ➤ 信販・リース業におけるDevOps案件等の拡大 ➤ 証券業向け前期大型案件の反動減
ITソリューション	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 製造業・サービス業などでの基幹システム開発案件の獲得 ➤ BPOビジネスの増加 ➤ フルフィルメントサービスでの一部顧客の解約・縮小 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 基幹システム開発案件の寄与 ➤ コンタクトセンターのビジネス拠点拡大による先行費用 ➤ ERPパッケージの減価償却費の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 複数業種における基幹システム開発案件の獲得 ➤ コンタクトセンタービジネスでの一部顧客の解約・縮小

※ ➤:増加要因 ➤:減少要因 →:増減なし

セグメント	売上高	営業利益	受注高・受注残高
ITプラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 通信業向けネットワーク機器販売案件が堅調に推移 ➤ 流通業向けネットワーク・セキュリティ製品販売の増加 ➤ 学術機関向けハードウェア販売の反動減 		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 通信業向けネットワーク機器の前倒し受注の反動減 ➤ 製造業、サービス業向けハードウェア販売の増加
ITマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 活況なクラウドサービス需要を受けたデータセンター事業が増加 ➤ 通信業向けのマネジメントサービスの減少 ➤ 流通業向け基盤構築案件の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 新設したデータセンターの償却費の発生 ➤ エネルギー市況における電力料高騰の影響 ➤ 前期の高収益案件の反動減 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 活況なクラウドサービス需要を受けたデータセンター事業が増加 ➤ 金融業向け、サービス業・その他の顧客向け基盤構築案件の反動減
その他	→ ほぼ前期並み	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 経営基盤強化費用や地方拠点拡充費用の発生に伴い減益 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 契約締結時期の期ズレの影響による受注高の増加

期初予想から変更なし

(単位:百万円)

	22年3月期 実績(A)	23年3月期 予想(B)	増減額 (B-A)	増減率
売上高	414,150	450,000	35,850	8.7%
売上総利益	108,187	119,000	10,813	10.0%
売上総利益率	26.1%	26.4%	0.3%	
販売管理費 [※]	△ 60,632	△ 65,000	△ 4,368	7.2%
営業利益	47,555	54,000	6,445	13.6%
営業利益率	11.5%	12.0%	0.5%	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	33,470	38,000	4,530	13.5%

※ その他収益費用を含む

(単位:円)

		22年3月期	23年3月期	増減額
1株当たり 配当金	中間配当	23.33	26.00	2.67
	期末配当	23.34	26.00	2.66

Appendix

システム開発(下段:第2四半期期間)

(単位:百万円)

	22年3月期	23年3月期	増減額	増減率
売上高	82,022	85,807	3,785	4.6%
	41,527	44,569	3,041	7.3%
受注高	83,404	89,901	6,497	7.8%
	43,605	45,899	2,293	5.3%
受注残高	38,563	44,751	6,187	16.0%

- 売上高
 - ・生保・損保業、通信業向けにおいて、システム開発案件の反動減
 - ・自動車業向け戦略領域への投資需要の継続
 - ・製造業・サービス業向け基幹システム構築案件等が増加
- 受注高・受注残高
 - ・証券業向けの事業基盤強化案件にて反動減
 - ・流通業向け基幹システム構築案件や自動車業向け戦略投資需要、ガス業向けシステム開発需要などにより増加

保守運用・サービス(下段:第2四半期期間)

(単位:百万円)

	22年3月期	23年3月期	増減額	増減率
売上高	79,935	85,204	5,268	6.6%
	40,420	43,625	3,205	7.9%
受注高	69,531	72,381	2,849	4.1%
	37,477	39,930	2,452	6.5%
受注残高	90,136	95,883	5,746	6.4%

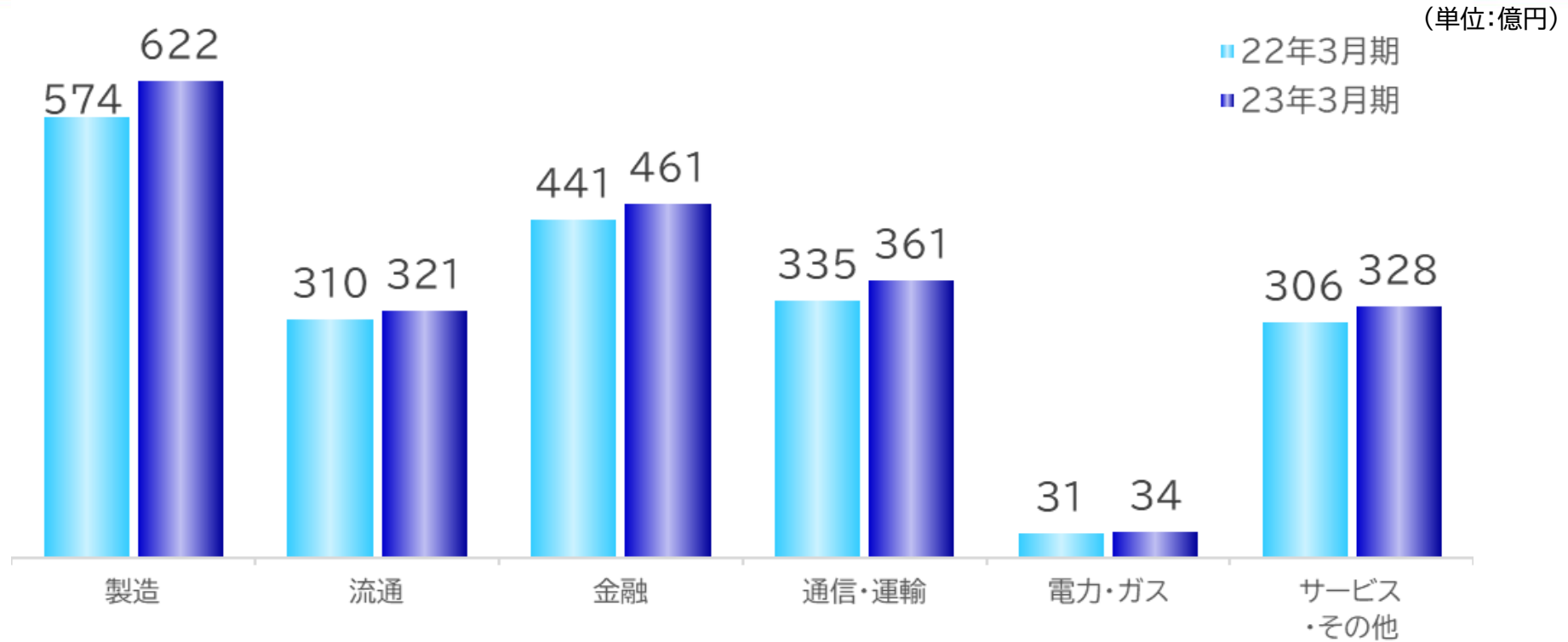
- 売上高
 - ・EC系フルフィルメントサービスでの一部顧客の解約・縮小
 - ・データセンタービジネス、検証サービス、システム保守への需要が堅調に推移
- 受注高
 - ・BPOビジネスにおいて一部顧客の解約や縮小により減少
 - ・検証サービスが増加
- 受注残高
 - ・検証サービス、データセンタービジネスが増加

システム販売(下段:第2四半期期間)

(単位:百万円)

	22年3月期	23年3月期	増減額	増減率
売上高	38,067	42,087	4,020	10.6%
	18,866	20,487	1,620	8.6%
受注高	41,982	42,605	622	1.5%
	26,520	19,325	△ 7,195	△27.1%
受注残高	29,465	28,235	△ 1,229	△4.2%

- 売上高
 - ・学術機関向けハードウェア販売の反動減
 - ・通信業向けにて複数のネットワーク機器販売の増加
- 受注高・受注残高
 - ・通信業向け複数のネットワーク機器販売の減少
 - ・サービス業、製造業向けハードウェア販売により増加



- 製造業は、自動車業向け戦略投資および検証サービスにより増加
- 流通業は、ネットワーク・セキュリティ機器販売が増加
- 金融業は、銀行業および信販・リース向けのデータセンタービジネスが増加
- 通信・運輸業は、通信業向けネットワーク機器販売などで増加
- 電力・ガス業は、ほぼ前年同期並みに推移
- サービス業・その他は、基幹システム構築案件に加えて、データセンタービジネスやBPO関連等で増加

< 当資料利用上の留意点 >

- ・売上高前期比較(業種別)については、一部計上業種の見直しを行ったことにより、前年度の業種別売上金額を組み替えております。
- ・セグメント別業績については、当期にセグメント区分の変更を行っていることから、前年度の実績についても、変更後のセグメント区分に組み替えております。

< 免責事項 >

- ・本資料は、当社グループの業績及びグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- ・本説明会及び資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。
- ・本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願い致します。

- 2022.10.31 SCSK モビリティ事業特化型人材を育成するソフトウェア開発子会社を設立
~2030年「Smart Cityに貢献するモビリティサービサーNo.1」へ~
- 2022.10.26 首里城復興DX共創ラボを一般公開 ~「首里城復興におけるDX推進に関する連携協定」に基づく取り組みを紹介~
- 2022.10.24 AR技術を活用した現地体験型ゲームイベント「首里城復興AR謎解きラリー」を開催
- 2022.10.17 SCSKのノーコード開発サービス「CELF」をグローバルに展開
- 2022.10.13 SCSK、Beyond Identity とアジア初の戦略的パートナーシップを締結
- 2022.10.07 SCSKモビリティサービス「QINeS」へブランド再定義
- 2022.09.26 日本発の「空飛ぶクルマ」を開発する株式会社SkyDriveへの出資について
- 2022.09.22 「Netskope」のセキュリティ監視サービス提供開始 ~クラウド時代の安全なIT環境を実現するSASEを監視し、
インシデントの早期発見とセキュリティレベルの向上を実現~
- 2022.09.13 Neural Concept SAと「Neural Concept Shape」販売契約締結
~データドリブン開発を実現するCAE×AIソリューション~
- 2022.09.12 金型業務を一気通貫で管理するテンプレートを提供開始 ~「atWill Template」で、製造業の品質・生産性向上を支援~
- 2022.09.05 東京大学とドローンを活用したプログラミングワークショップを共同開発、2022年10月に開催
- 2022.08.29 SCSKとFEATURESPACE 社が国内初の代理店契約を締結
~クレジット・金融決済サービスにおける不正利用抑止の精度を70%以上向上~
- 2022.08.25 電子取引データ保存サービス「スマクラ データアーカイブ」がJIIMA認証取得
~電子インボイス(流通業EDIフォーマット)対応、CSVデータ変換機能オプション追加~

SCSK

夢ある未来を、共に創る。